

# 場づくりに考える

## 直島《瀬戸内「」資料館》の取り組みについて

2019年より始動したプロジェクト《瀬戸内「」資料館》は、美術家・下道基行氏が直島のローカルな資料館／アーカイブをつくっていくという長期的なアートプロジェクトです。作家自身が直島に移住し、住民との関わりを通して、この地域に残された写真や記録などの資料を収集、展示といった活動を蓄積していくなかで、日常のアクティビティが生まれています。

今回のトークでは、土地の記憶・歴史を丹念に掘り起こしていくと同時に新たな営みの生成へとつながっていく直島での活動について紹介いただき、活動の拠点/場があることで広がっていくコトやネットワークについて考えます。

ゲスト: 下道 基行(美術家/京都芸術大学客員教授)

聞き手: 雨森 信(HUB-IBARAKI ART PROJECTアドバイザー)

日時: 2026年7月4日(土) 13:30-15:00

会場: 茨木市市民総合センター[クリエイトセンター]1階 喫茶・食堂スペース

茨木市駅前四丁目6番16号

参加費: 無料 ※要申込

定員: 先着 30名

下記の申込フォームより  
お申し込みください。

◀ 申込フォーム

【主催 / 問合せ】  
公益財団法人茨木市文化振興財団  
TEL: 072-625-3055 (10:00~17:00) <https://hub-ibaraki-art.com/>

公益財団法人  
茨木市文化振興財団  
IBABUN  
Ibaraki City Cultural Foundation  
30th Anniversary



JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木駅から西へ徒歩12分